

第6回 学校デザイン部会 会議報告

日 時:令和8年3月6日(金)

午後4時～4時20分

場 所:岡谷西部中学校1階 応接室

○次 第

1 開会

2 議題

(1) 義務教育学校のグランドデザイン(案)について

(2) 日課表の試行について

3 閉会

○部会で出た意見

【議題1】義務教育学校のグランドデザイン(Ver.2.1)について

【主な意見】

- ・前回から大きな変更はないが、岡谷市の幼児教育・保育大綱から抜粋して「幼児教育・保育目標」を追加した。
- ・「探究的な学びの充実」に「川岸に学ぶ」を加えた。
- ・新しい児童会長の言葉にある「挑戦にまちがいはない」といった、学校の核となる言葉を中心に据えると良いのではないかと。失敗を乗り越えて本当の学力がつくようなニュアンスが伝わると良い。
- ・異年齢の学び(縦割りの学習集団)を重視し、児童会・学友会の連携が視覚的(グラデーション等)に伝わるような工夫が必要である。
- ・「個別最適な学び」と「協働的な(対話的な)学び」のバランスが重要である。自由進度学習やUDL(ユニバーサルデザインフォーラーニング)の視点を取り入れ、「自ら」学ぶ姿勢を育てる研究を進めていきたい。
- ・運動会や音楽会などの行事において、子ども主体の運営がより見えるようにしてほしい。
- ・小中で完全に一緒にやらなくても、互いの活動を見学・応援するだけでも良い影響があるため、行事のつながりもグラデーションで表現してはどうか。
- ・地域の財産(お蚕様、片倉兼太郎、ウナギなど)を活かした「川岸ならではの」学びを、異年齢の繋がりの中で展開していくことが期待される。
- ・情報過多を避け、保護者や地域住民に分かりやすいシンプルな「概要版」と教員向けの「詳細版」の2本立てにして示すと伝わりやすい。

【議題2】日課表の試行について

【主な意見】

- ・3月11日～13日にノーチャイムも入れながら、小中共同の日課表の試行を行う。
- その結果を踏まえて修正を加えながら来年度からのスタートに備えたい。

- ・中学校の授業時間を45分にする選択肢や、小学校を40分にする、あるいは特定の日を短縮日課にするなど、柔軟な時間割の検討も併せて進めていく。
- ・子どもたちの自主的な活動や探究学習の時間を確保するため、休み時間を長くする工夫が必要であると感じる。

その他意見について

【主な意見】

- ・全市的には難しいと思うが、新しくできる川岸学園(義務教育学校)について、学校選択の自由化を検討していただきたい。
⇒特認校制度等を活用して、義務教育学校に特化して、市内全域からの入学を認める事例が全国ではある。そういった事例を参考に令和8年度に教育委員会主導で検討を進める予定。

○今後の検討事項

- ・3月日課表の試行及び4月の学校運営を通じて日課表の課題を洗い出し、部会で意見を出し合いながらブラッシュアップを行う。
- ・グランドデザインについて、教職員間で検討を深めるとともに、概要版と詳細版の作成を進める。

○次回の日程について

- ・5月のゴールデンウィーク明け以降に開催予定。日課表の試行結果を踏まえた課題等についても検討を行う。